

日本農業新聞



キャップの色を工夫すればインテリアにもなるミニ野菜栽培キット (東京・六本木で)

机の上が ハーブ園？

栽培キット
東京で人気
ペットボトルのキャップ

「フが畑に」。そんな超ミニ野菜の栽培キットが、都会の若者の人気を集めている。日当たりの良い空間が少しあれば、室内で簡単に野菜作りを楽しめる。キャップの色を工夫すれば、おしゃれなインテリアにも最適だという。発売から3カ月。既に1000キット以上が売れている。

企業広告やパッケージデザインを手掛ける東京・六本木の水谷事務所所属デザイナーが考案した。商品名は「Mer

ry Farmingキット」。考案者の一人、柄本綾子さん(25)は「身近なもので野菜作りを楽

しみ、農業に親しむきっかけにしてほしい」と話す。

キットには、キャップ2個分の圧縮した土とバジルの種、栽培説明書が入っている。キャップでは、芽が3、4つになるまで育てる。その後プランターに植え替えれば、料理に使えるようになる。青山ブックセンター六本木ヒルズ店、TSUTAYA横浜みなとみらい店(横浜市)などで販売中だ。

店頭価格は1キット158円。同事務所は今後、バジル以外の品目を取り入れ、販売店舗数も広げる予定。